

# 令和6年度実施

## 大阪府民の「健康と生活に関する調査」報告書【概要版】

大阪府民のみなさまのこころやからだの健康に関する  
アンケート調査結果を取りまとめました。

この調査は、令和5年3月に策定された「第2期大阪府ギャンブル等依存症対策推進計画」に基づいて、府民のみなさまのこころやからだの健康、生活習慣、ギャンブル等の参加状況等をお聞きし、ギャンブル等をはじめとした依存症対策を考えるための基礎資料とすることを目的としております。

### ■調査の概要

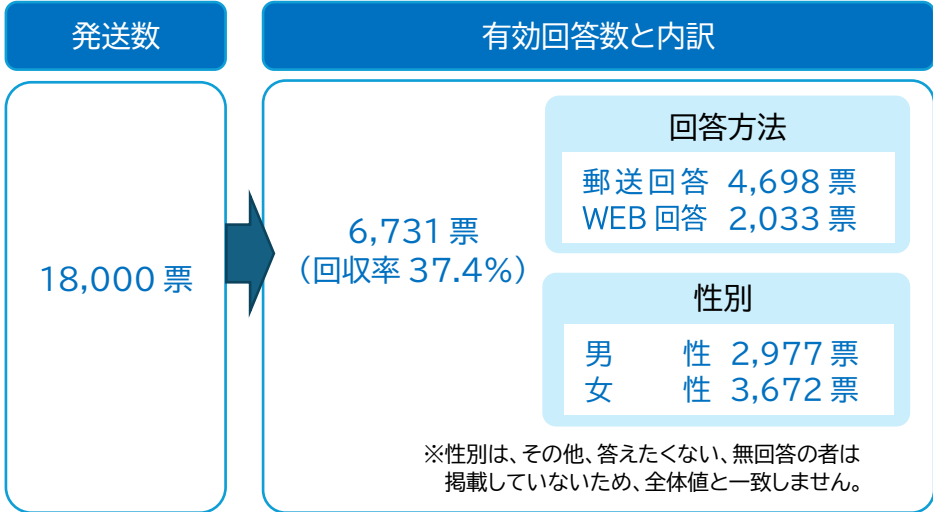
調査は次の通り実施いたしました。

|         |                                                                               |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 調査実施主体  | 大阪府こころの健康総合センター                                                               |
| 対象者     | 大阪府在住の18歳以上の人18,000名<br>(住民基本台帳から無作為に抽出)                                      |
| 調査・回答方法 | 郵送にて自記式アンケート調査票を送付し、<br>郵送かインターネットのいずれかで回答                                    |
| 調査期間    | 令和6年10月1日～10月31日                                                              |
| 調査内容    | 基本属性・背景情報、 <b>ギャンブル等</b> ※行動、ギャンブル等関連問題、<br>ギャンブル障害のスクリーニングテスト、クロスアディクション、その他 |

※本調査における「ギャンブル等」とは、結果が偶然性に左右されるゲームや競技に対して、金銭を賭ける行為のことを言います。また、競馬、競輪、競艇などの公営ギャンブル、パチンコ・パチスロのほか、宝くじやスポーツ振興くじ、証券の信用取引(FX)を含みます。

### ■調査への回答

調査への回答数は次の通りです。



# 調査の結果概要

## 1.「ギャンブル等依存が疑われる者」の推計値

**SOGS**を用いて、過去1年間以内のギャンブル等の経験等の評価を行いました。

SOGS(The South Oaks Gambling Screen)は、アメリカのサウスオーク財団が開発した病的ギャンブラーを検出するための自記式スクリーニングテストです。ギャンブル障害に関する国内外の疫学調査で数多く採用されています。16問(うち4問は得点対象外)の質問で、得点範囲は0点～20点となります。

本調査は、合計5点以上の人を「ギャンブル等依存が疑われる者」、  
合計3点～4点の人を「ギャンブル等依存のリスクがある者」としています。

### ①過去1年間におけるギャンブル等依存が疑われる者(年齢調整後のSOGS得点分布)

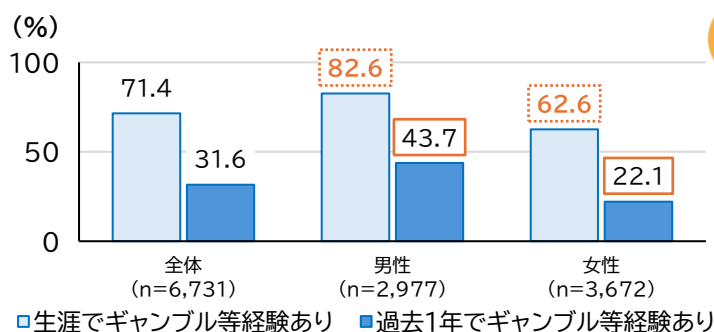
|    |         | 回答者数<br>(n) | SOGS得点   |         |         |
|----|---------|-------------|----------|---------|---------|
|    |         |             | 5点未満     |         | 5点以上    |
|    |         |             | 0～2点     | 3～4点    |         |
| 全体 | 人数      | 6,333       | 6,132    | 104     | 96      |
|    | 割合      | (100.0%)    | (96.8%)  | (1.6%)  | (1.5%)  |
|    | 95%信頼区間 | —           | —        | 1.3～2.0 | 1.2～1.8 |
| 性別 | 男性      | 人数          | 2,963    | 2,793   | 89      |
|    |         | 割合          | (100.0%) | (94.3%) | (3.0%)  |
|    |         | 95%信頼区間     | —        | —       | 2.4～3.6 |
|    | 女性      | 人数          | 3,370    | 3,339   | 15      |
|    |         | 割合          | (100.0%) | (99.1%) | (0.5%)  |
|    |         | 95%信頼区間     | —        | —       | 0.2～0.7 |

|         |
|---------|
| 3点以上    |
| 200     |
| (3.2%)  |
| 2.7～3.6 |

※過去1年間でギャンブル等の経験がある者のうち、SOGSの質問項目に全て回答した者を対象としています。  
95%信頼区間: 同一の標本調査を100回行った場合、そのうち95回で推計値がこの範囲内となる区間を表します。

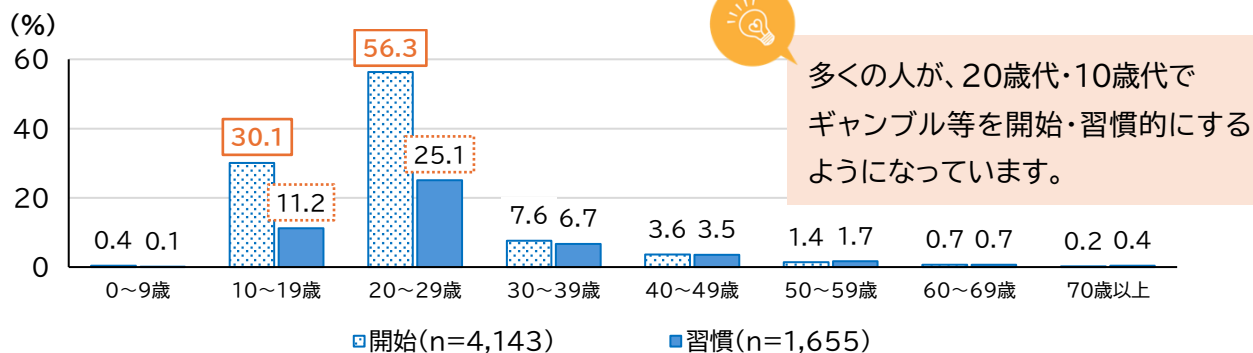
## 2.ギャンブル等行動について

### ①ギャンブル等経験率

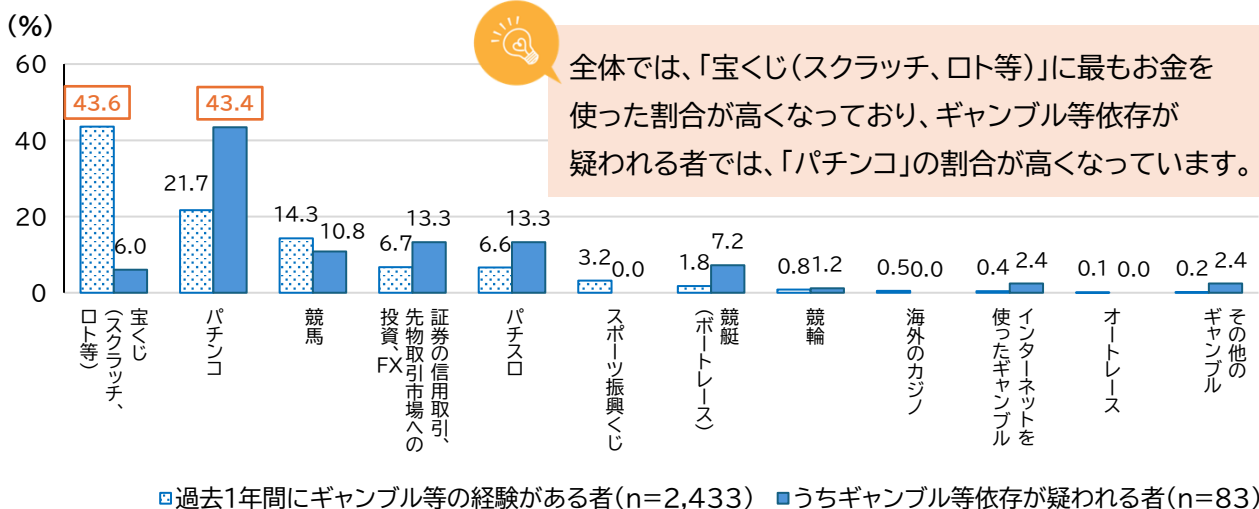


生涯のギャンブル等経験率と過去1年間のギャンブル等経験率のいずれも男性の割合が高くなっています。

## ②ギャンブル等を開始した年代・習慣的にするようになった年代



## ③過去1年間に最もお金を使ったギャンブル等

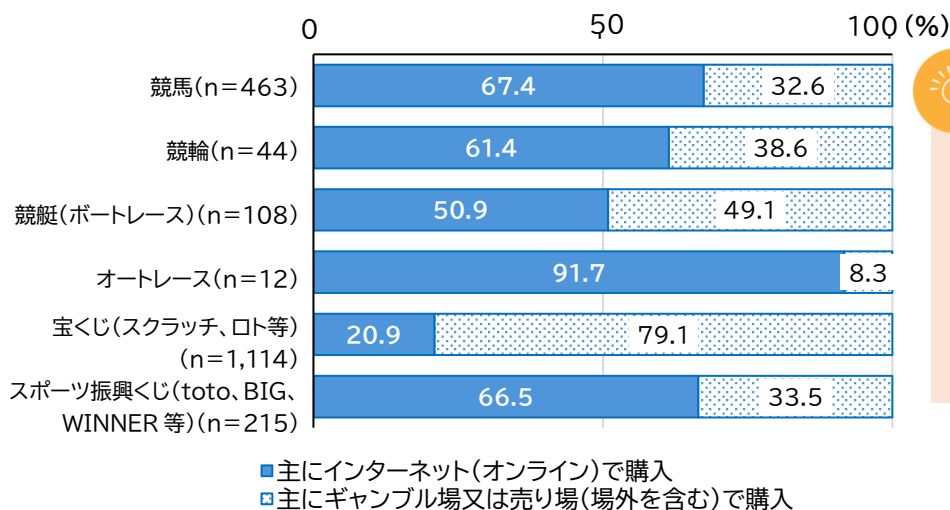


## ④過去1年間にギャンブル等に使った金額(1カ月当たり)

|     | 全体          | ギャンブル等依存が疑われる者(SOG5点以上) |
|-----|-------------|-------------------------|
| 最小値 | 1円          | 100円                    |
| 中央値 | 10,000円     | 100,000円                |
| 最大値 | 40,000,000円 | 3,000,000円              |
| 平均値 | 206,954円    | 284,106円                |

過去1年間にギャンブル等に使った金額(1カ月あたり)は、ギャンブル等依存が疑われる者の方が、中央値と平均値が高くなっています。

## ⑤過去1年間の公営競技等の券の購入方法

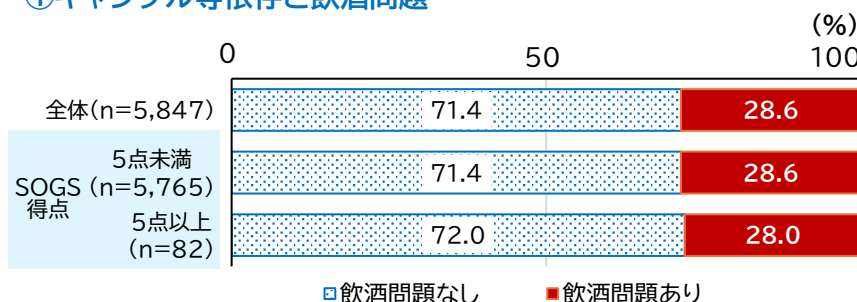


「宝くじ(スクラッチ、ロト等)」は、およそ8割の人が売り場で購入しており、その他は「主にインターネット(オンライン)で購入」が半数以上となっています。

### 3.ギャンブル等と関連する問題

それぞれの尺度を用いて、ギャンブル等依存が疑われる者とそうでない者を比較しました。

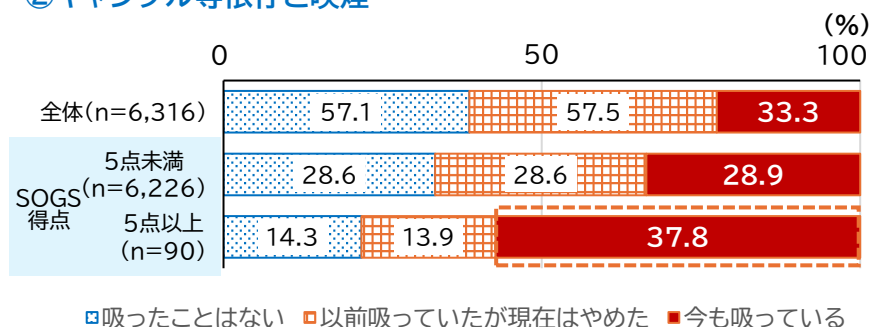
#### ①ギャンブル等依存と飲酒問題



今回の調査では、飲酒問題との関連は明確ではありませんでした。

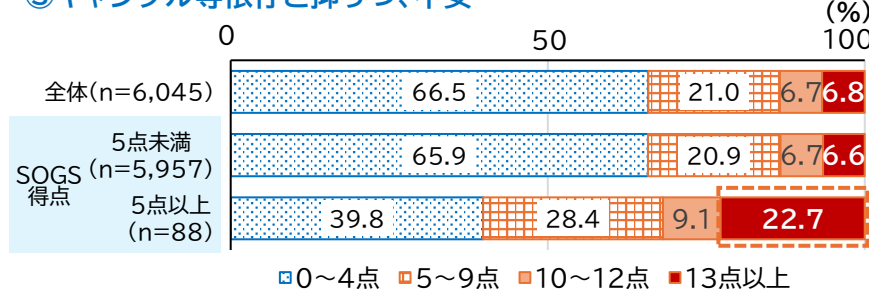
飲酒問題の有無は、AUDIT-C 得点で評価しています。  
 飲酒問題なし: 男性の0～4点/女性の0～3点    飲酒問題あり: 男性の5点以上/女性の4点以上

#### ②ギャンブル等依存と喫煙



ギャンブル等依存が疑われる者は、煙草を今も吸っている割合が高くなっています。

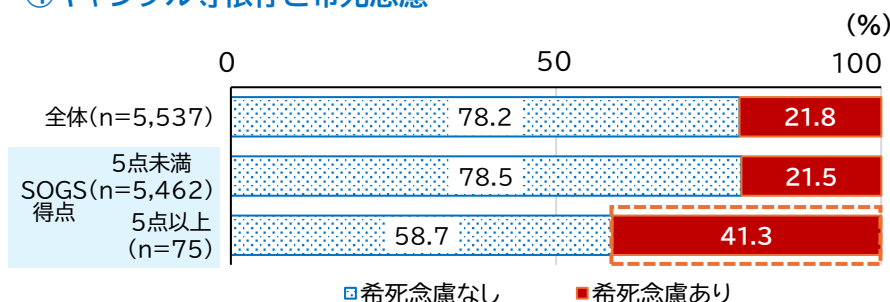
#### ③ギャンブル等依存と抑うつ、不安



ギャンブル等依存が疑われる者は、重度のうつ・不安障害が疑われる割合が高くなっています。

抑うつ・不安の傾向は、K6 得点で評価しています。  
 0～4点: 問題なし    5～9点: 何らかのうつ・不安の問題がある可能性がある  
 10～12点: うつ・不安障害が疑われる    13点以上: 重度のうつ・不安障害が疑われる

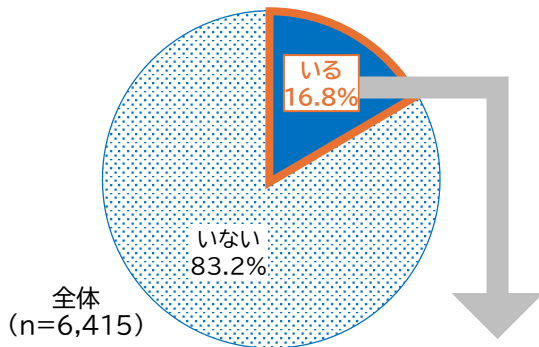
#### ④ギャンブル等依存と希死念慮



ギャンブル等依存が疑われる者は、希死念慮を有する割合が高くなっています。

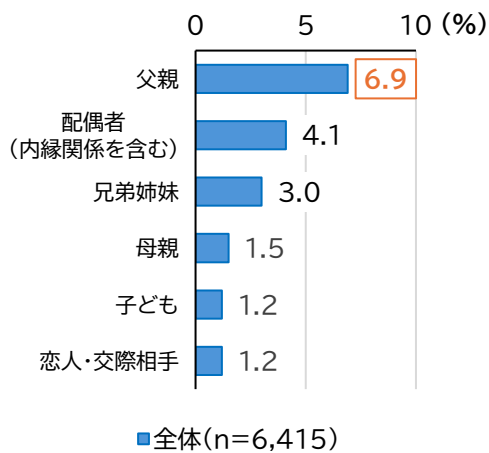
## 4. 家族や重要な他者のギャンブル等問題

### ① 家族や重要な他者にギャンブル等の問題がある(あった)人の有無

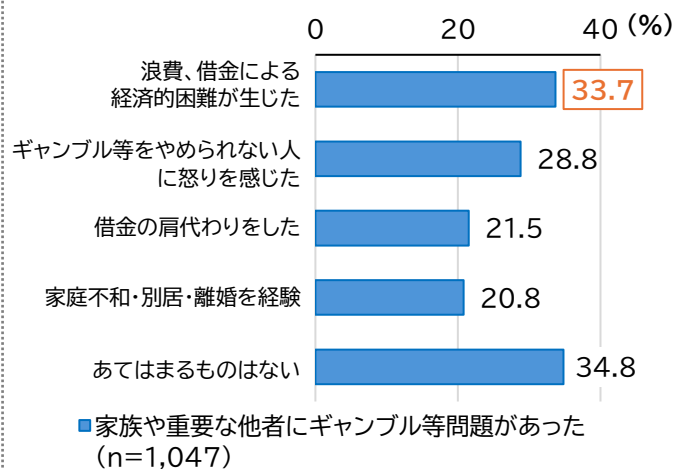


家族や重要な他者にギャンブル等問題がある(あった)人が「いる」と回答したのは16.8%でした。

### ② ギャンブル等の問題がある(あった)人(上位6項目)

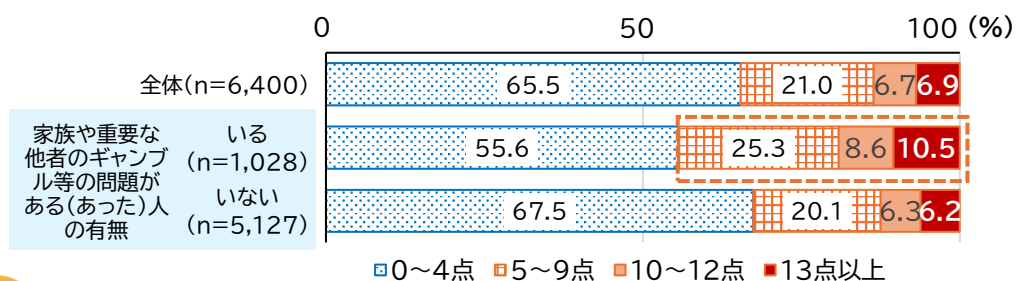


### ③ その人から受けた影響(上位5項目)



家族や重要な他者にギャンブル等問題がある(あった)人は「父親」が6.9%です。受けた影響は「浪費、借金による経済的困難が生じた」の割合が高くなっています。

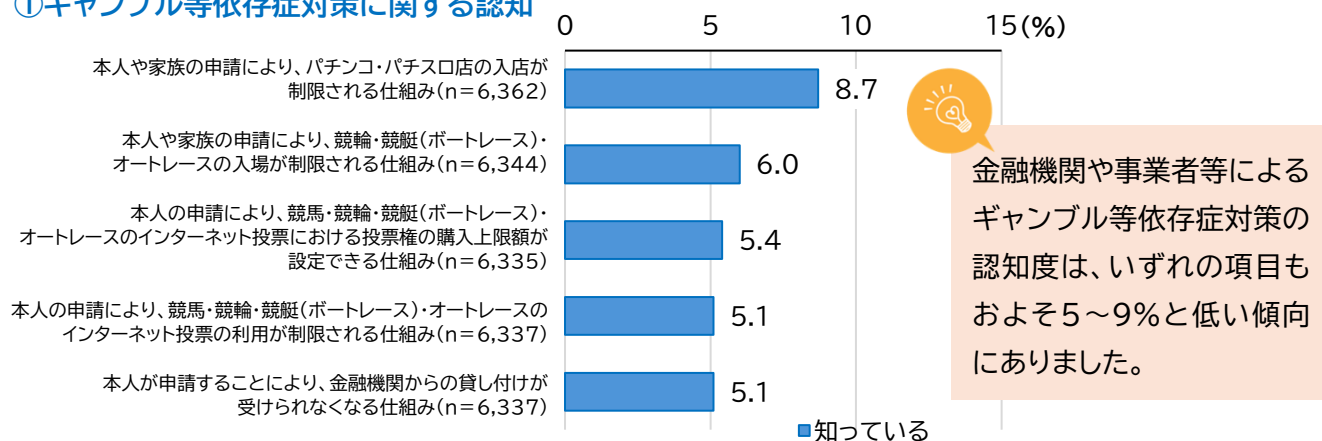
### ④ 家族や重要な他者のギャンブル等問題があった人の有無と抑うつ、不安との関連



家族や重要な他者にギャンブル等問題があった人がいると、何らかのうつ・不安の問題がある※可能性が高くなっています。(※K6得点が5点以上)

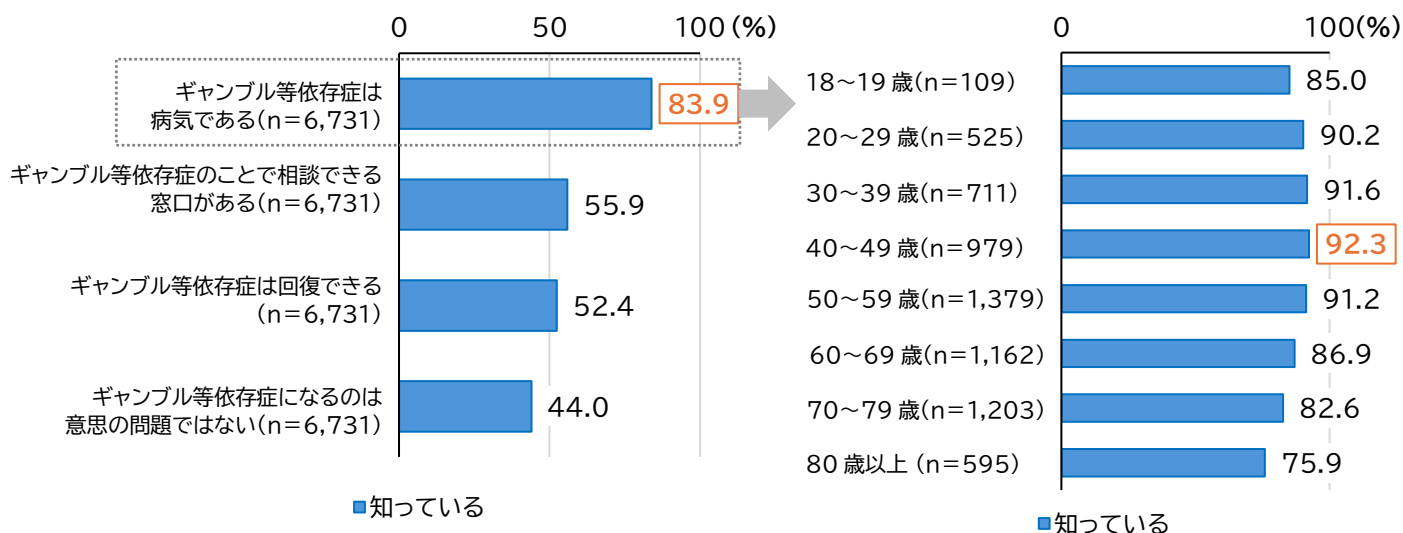
## 5. 依存症に対する認識等

### ① ギャンブル等依存症対策に関する認知



### ② ギャンブル等依存症に対する認識

#### 「ギャンブル等依存症は病気である」という認識(年代別)



「ギャンブル等依存症は病気である」の認識は全体では83.9%でした。  
 年齢別で見ると、40歳代が最も高く、20歳代から50歳代は90%を超えていました。

## 参考資料 大阪府及び全国のギャンブル等依存症にかかる実態把握調査結果

|                                               | 大阪府                                            |                                                |                                                |                                                | 全国                                                 |
|-----------------------------------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
|                                               | R6調査（今回の調査）                                    | R5調査                                           | R4調査                                           | R2調査                                           | 全国調査（R5）＊1<br>結果報告                                 |
| 実施主体                                          | 大阪府<br>こころの健康<br>総合センター                        | 大阪府<br>こころの健康<br>総合センター                        | 大阪府<br>こころの健康<br>総合センター                        | 大阪府<br>こころの健康<br>総合センター                        | 久里浜医療センター<br>※厚生労働省令和2年度<br>依存症に関する調査研究事業          |
| 調査方法                                          | 自記式もしくは<br>WEB入力による<br>アンケート                   | 自記式もしくは<br>WEB入力による<br>アンケート                   | 自記式もしくは<br>WEB入力による<br>アンケート                   | 自記式もしくは<br>WEB入力による<br>アンケート                   | 自記式もしくは<br>WEB入力による<br>アンケート                       |
| 調査対象者                                         | 18,000名                                        | 18,000名                                        | 18,000名                                        | 5,000名                                         | 18,000名                                            |
| 対象者の選択方法                                      | 大阪市・堺市を含む<br>大阪府内の住民基本台帳<br>より無作為抽出<br>(18歳以上) | 大阪市・堺市を含む<br>大阪府内の住民基本台帳<br>より無作為抽出<br>(18歳以上) | 大阪市・堺市を含む<br>大阪府内の住民基本台帳<br>より無作為抽出<br>(18歳以上) | 大阪市・堺市を含む<br>大阪府内の住民基本台帳<br>より無作為抽出<br>(18歳以上) | 全国の住民基本台帳<br>より無作為抽出<br>(18歳以上75歳未満の<br>日本国籍を有する者) |
| 回答者数                                          | 6,755名<br>(回収率37.5%)                           | 6,639名<br>(回収率36.9%)                           | 3,886名<br>(回収率21.6%)                           | 1,583名<br>(回収率31.7%)                           | 9,291名<br>(回収率51.6%)                               |
| うち有効数                                         | 6,731名<br>(回収率37.4%)                           | 6,616名<br>(回収率36.8%)                           | 3,785名<br>(回収率21.0%)                           | 1,552名<br>(回収率31.0%)                           | 8,898名<br>(回収率49.4%)                               |
| 過去1年以内に<br>ギャンブル等依存症が<br>疑われる者<br>(SOG5点以上) ※ | <b>1.5% (1.2～1.8%)</b><br>(90名/6,331名)         | <b>2.0% (1.7～2.3%)</b><br>(116名/6,349名)        | <b>1.9% (1.5～2.3%)</b><br>(64名/3,683名)         | <b>1.3% (0.8～2.0%)</b><br>(22名/1,500名)         | PGS18点以上<br>1.7% (1.4～1.9%)<br>(140名/8,812名)       |

※％は年齢調整後の数値。人数は年齢調整前の実数

※大阪府の調査はR5より年齢に無回答・性別にその他、答えたくない、無回答も有効票として取り扱った。

＊1 松下幸生, 木村充, 遠山朋海, 伊東寛哲, 新田千枝, 古賀佳樹, 浦山悠子, 柴山笑凜: 令和5年度 依存症に関する調査研究事業「ギャンブル障害およびギャンブル関連問題の実態調査」, 2024 年

### おおさか 依存症ポータルサイト

依存症に関する様々な情報を掲載しており、  
大阪府内の医療機関・相談機関等の情報を  
検索することもできます。



### SNS相談 大阪依存症ほっとライン

【水・土・日曜日】 17:30～22:30  
(最終受付:22:00)

依存症に関することで悩んでいるご本人・ご家族等からのご相談を  
お受けしています。相談内容は守られます。安心してご相談ください。

LINEアプリから「友だち登録」をしてください。  
詳しくは、登録後にリッチメニューの「ご利用にあたって」をご覧ください。



---

令和7年3月発行 大阪府こころの健康総合センター 相談支援・依存症対策課

〒558-0056 大阪府大阪市住吉区万代東3丁目1-46

本調査は、令和6年度依存症対策強化事業(大阪府・大阪市共同事業)において実施しました。